

やすらぎ短信

平成30年
7月号

夏越の大祓式齋行

六月三十日、氏子崇敬者約四十名がご参列のもと大祓式を齋行致しました。この大祓式は、六月三十日と十二月の三十一日の年に二回行われている行事で、今回の大祓式を夏越（なごし）の祓いと呼んでいます。当日は、宮司が参列者の前で大祓詞（おほはらえのことば）を唱え、一人ひとりに配られた人形（ひとがた・半紙を人の形に切ったもの）に、今年の半年間、知らず知らずのうちに犯してしまった「つみ」「けがれ」を移してお祓いし、残り半年間の無病息災を祈願致しました。参列者は、大祓式の後、境内にあちこちに設置致しました百個のローソクに、それぞれの願いを込めて献灯頂きました。氏子会崇敬者の皆様が残りの半年間、無事健康に暮らせませますようお願い申し上げます。



リシマキア「花」奉納

空手道少年団が植栽

去る六月二十四日、石原英之様（万年）よりリシマキアの苗五百株、アジュガの苗百株をご奉納頂き、浦幌町空手道少年団の子供たちと保護者のご奉仕により植栽致しました。リシマキアは、サクランボ科・オカトラノオ属に分類される植物で、初夏に花を咲かせ、地面にじゅうたんのようにながらびます。この花の植栽は四年目で、今年で二千株となりました。場所は、樹霊塔へと続く参道の脇です。開花は、フェイスブックやホームページでお知らせ致しますので、ご参拝がてら、見に来て下さい。石原様のご厚意に心より感謝申し上げます。



宮司の 一筆

「語り」と「歌」と「舞」とで親しむ

日本神話の語り舞台

去る六月三十日、大祓式後に社殿内で、「日本神話の語り舞台」が行われた。この舞台は今年の二月から企画を立ち上げ、出演頂いた植田夫妻の並々ならぬ「神話」への熱い想いによって実現した。「語り」は「イノックアーデン」など、札幌を中心に全国で公演中の植田研一様、「歌」は第一興商の歌唱検定で全国最優秀賞を受賞し、CDデビューを果たし、札幌で活躍中の咲明里様、「舞」は当社で神楽舞を奉納している月姫会がそれぞれ担当し、植田氏のご指導のもと、日本神話で登場する八百万（やおよろず）の神々が生き生きと活躍する様子を、語り・歌・舞とで融合させながら、躍動感のある素敵な語り舞台を演出した。私も参加者と共に日本神話の独特の世界観に引き込まれるように舞台を鑑賞した。

現在、ほとんどの子どもが日本神話を知らずに育っている。世界一長寿の国である日本に住む我々は、千三百年前に書かれた日本神話にもっと触れることで、先祖伝来の世界に誇れる日本人としての「精神」にもっと気が付けるのではないだろうか。

植田夫妻をはじめ、出演者に感謝申し上げますと共に、今後この日本神話の語り舞台が少しでも多くの人に広まってゆくことを願ってやまない。



戦没者慰霊祭のご案内

日時 八月十五日（終戦記念日）
午前九時より、

場所 浦幌神社境内、忠魂碑前

雨の場合は、浦幌神社拝殿

浦幌町出身の御英霊に感謝の誠と平和への祈りを捧げます。どなたでも自由にご参列できますので、お誘いあわせのうえ、どうぞご参列下さい。



浦幌神社行事予定

七月一日 月次祭

七月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八